全国高校総体 東海 第5日

全国高校総合体育大会（インターハイ）第5日は5日、三重県津市の津市産業ＳＣなどで22競技が行われた。徳島県勢は12競技に出場した徳島県勢では、弓道男子団体で徳島市立が４位入賞した。準々決勝で今治工（愛媛）を15―14で下した徳島市立は準決勝で延岡学園（宮崎）に敗戦。３位決定戦では市前橋（群馬）に敗れ、表彰台を逃した。バドミントン団体は男子の徳島商と女子の城東がいずれも１回戦で姿を消した。なぎなたの団体は鳴門が予選リーグで、フェンシングの男子団体は城ノ内が初戦の２回戦でそれぞれ敗退した。少林寺拳法の男子組演武決勝で藤田涼我・松尾明英組（つるぎ）は14位。女子バレーボール決勝で、徳島市出身の西川有喜・吉野姉妹が在籍する金蘭会（大阪）は下北沢成徳（東京）に敗れ準優勝だった。第６日の６日は９競技に県勢が出場する。

徳島市立 男子団体 4位 県勢19年ぶり

全国制覇逃すも充実感

男子団体で4位入賞した徳島市立の（左から）多喜、大下、伊勢、笹田、吉野＝静岡県小笠山総合運動公園アリーナ特設弓道場（山田旬撮影）

目指していた日本一にはなれなかった。それでも持てる力は出し切った。男子団体で県勢として1999年の城ノ内以来19年ぶりに4強入りを果たした徳島市立。吉野主将は「もっと上に行きたかったけど4位という成績には納得している」と充実感を漂わせた。

ベスト4を懸けて臨んだ準々決勝は今治工（愛媛）との四国対決。四国高校選手権の決勝トーナメント1回戦で敗れた相手で、選手たちはリベンジに燃えていた。チームを勢いづけたのは大前の多喜。4射全てを的中させる皆中を決め「自分の仕事ができた」。1中差の勝利に貢献した。

準決勝では優勝した延岡学園（宮崎）に善戦した。大下、笹田の2人が皆中の活躍を見せたがわずかに及ばなかった。2中にとどまった吉野主将は「あと2本当てられなかったことが悔やまれる」と残念がった。

全国制覇が夢物語ではなく、手に届くところにあると実感した選手たち。2年生の大下は今冬の全国高校選抜大会を見据え「優勝できるよう練習を積む」と決意を新たにしていた。

（石津遼）

弓道

（静岡県小笠山総合運動公園アリーナ特設弓道場）

【男子】団体準々決勝（20射）
徳島市立 15―14 今治工（愛媛）
（徳島市立＝多喜4中、大下3中、伊勢3中、笹田2中、吉野3中）

▽準決勝（20射）
延岡学園（宮崎） 16―14 徳島市立
（延岡学園＝後藤3中、矢野1中、黒木4中、岸本4中、郡4中）
（徳島市立＝多喜2中、大下4中、伊勢2中、笹田4中、吉野2中）

▽3位決定戦（10射）
市前橋（群馬） 7―3 徳島市立
（市前橋＝木村2中、杉村1中、有馬2中、佐野0中、萱野2中）
（徳島市立＝多喜0中、大下1中、伊勢0中、笹田0中、吉野2中）

▽決勝（20射）
延岡学園（宮崎） 15―13 秀岳館（熊本）
延岡学園は初優勝。

【女子】団体決勝（20射）
鹿児島南（鹿児島） 14―13 神奈川木（厚木）
鹿児島南は初優勝。